

## シリーズ

## “キラリ企業”

## の現場から 第113回

会社のさまざまな支援サービスをご利用いただいている元気企業を紹介する“キラリ企業”の現場から。第113回は海外の潜在訪日外国人を対象に外国語フリーマガジンを発行している和テンション株式会社(渋谷区)をご紹介します。2020年東京オリンピック・パラリンピックや、訪日外国人の増加といった機会を生かし、2011年の創業以来、着実に事業拡大を図る同社の取組みについて、代表取締役の鈴木康子氏、事務局長の萩亨氏にお話を伺いました。

同社には事業可能性評価事業(注1)をはじめ、地域資源活用イノベーション創出助成事業(注2)、東京都知的財産総合センター(注3)など多くの公社事業をご活用いただいております。

## WAttentionで世界中の人々を日本ファンにする

## 和テンション株式会社

日本の魅力を発信する「WAttention」事業  
東京に拠点開設を決意

和テンション株式会社は(以下同社)、世界11ヶ国で日本文化の紹介、訪日観光を促進する外国語フリーマガジン「WAttention」「WAttentionTokyo」の発行、Web・スマホアプリでの情報発信、ECサイトの運営等を行っている。

鈴木代表は平成10年にシンガポールで、在留邦人向け雑誌である「マンゴスティン倶楽部」を発行するミヌック・インターナショナル社を立ち上げた。10年以上にわたりシンガポールで生活し、外から“日本”をみてきた鈴木代表は、現地で日本を



世界11か国で年間160万部発行される「WAttention」誌

紹介する外国人向けの情報誌やWebメディアは多数存在するが、日本文化や歴史の基本知識を得ない外国人が表面だけを見て書いた“事実とは違う記述”や“翻訳文章”で紹介されたものがほとんどで、真の日本の魅力を伝えきれていないことが多いと感じていた。また、日本の自治体が地域の特産品をシンガポールでPRする場面に出会うことも多かったが、こちらも一方通行で単なる紹介に留まっており、現地ニーズに合わせた情報提供や、継続的

に味わってもらい、使ってもらい視点からの発想ではなかったことから、日本の本当の魅力をもっと効果的に、効率的に伝えたいと強く思うようになった。

そこで、日本文化と観光情報を提供する「WAttention」の発刊事業を平成22年シンガポールでスタートした。

しかし、「WAttention」の主な収益は、インバウンドに積極的な日本国内の地方自治体や企業からの広告収入であったため、国内で積極的な営業活動を展開する必要があった。また、シンガポールだけでなく世界に向けて日本の魅力を発信していきたいとも考えていたため、平成23年シンガポールから東京に拠点を移し、和テンション株式会社を創業することを決意した。



代表取締役 鈴木 康子氏

和テンション株式会社創業  
事業可能性評価事業との出会い

シンガポールで10年以上事業を実施してきた経験はあるものの、日本での事業は初めてであり、特に商慣習や法規制には戸惑うことが多かった。また、創業間もないベンチャー企業の営業活動は難しく、「初めはどこに営業に行けばいいかも分らなかった」という。

そんなときに、インターネットで会社の「事業可能性評価事業」を見つけた。まず、自社の強みと課題を整理し事業計画を策定することで、今後の経営の方向性を定めるこ

とができた。また、日本での事業の仕組みや進め方など、微妙なニュアンスについてのアドバイスも得ることができた。さらに、公社の「評価事業」となったことで外部からの信用が増し、自治体や大手企業に営業しやすくなったことも大きなメリットだった。

3年間にわたる継続支援期間は、担当マネージャーから当初課題であった販路開拓についての情報提供のほか、経営の進捗についての定期的なチェックなど事業化を達成するための各種のアドバイスを受けられた。また、商標登録や契約書作成については「東京都知的財産総合センター」からアドバイスを受けられた。事業の課題について気軽に相談できるマネージャーや知財アドバイザーは経営者にとって心強い存在になっている。

### 情報誌の高い品質を武器として事業拡大

販路開拓では、海外の旅行博に必ず出展している。旅行博には、同社のターゲットとなる自治体や、大手のインフラ関係企業が参加している。出展料が比較的高額なことから、本気度の高い企業が参加しており、インバウンドに関する主担当者と直接交渉ができる貴重な場となっている。その交渉の際に、企業や自治体担当者から高い評価を得られるのが、同社が提供している質の高い情報である。日本に理解の深い多国籍の社員が、日本の正確な情報を外国人の視点で発信するため、訪日客に有益な情報提供ができるのである。例えば、「江戸時代」の建築物をただ紹介するのではなく、各国の歴史に合わせてその建物の歴史的価値を紹介する、和食のおいしさを母国の料理に例えて伝えるなど、外国人の視点で、理解しやすい表現で、日本を正確に伝えられることが同社の強みとなっている。こうした地道な努力の結果、関東だけでなく東北の自治体や、鉄道会社など大手企業からのスポンサーも獲得し、創業後間もない段階で黒字化を達成、さらに事業拡大を図っている。



台北で開催された旅行博の様子

### 潜在訪日外国人の発掘に貢献する「WAttentionプラザ」

平成26年11月、シンガポール西部地区最大のショッピングセンター、ジュロンポイントの地下1階に常設展示場である「WAttention プラザ」を開設した。ブース出展、展示販売会、試食会などさまざまな用途でのテストマーケティングが可能である。日本の商品に実際に触れてもらえる機会を設けることで、日本の商品を認知し、興味をもってもらうことができる。また、催事が一時的なものに終わらず、シンガポールでの販路拡大、日本へのインバウンドの増加など、最終的な目的を果たすことができるよう、現地での営業経験を生かした様々なサポートメニューが整っていることも同社の長である。

訪日外国人を呼び込みたい自治体にとっても、海外で地域の魅力を直接アピールできる場合は貴重で、海外進出と訪日客の取込強化は相乗効果が高く自治体の関心も高いという。

### WAttention誌を核に日本の魅力をさらに発信していきたい

現在、同社は「WAttention」誌を世界11ヶ国で年間160万部発行し、Web、アプリ、ECなども含め、日本をもっと好きになってもらえるコンテンツ、商品の発信を強化している。今後は、強みである質の高いコンテンツ制作力を活かし、インバウンド、アウトバウンド施策にさらに貢献したいと考えている。日本の技術や製品、文化、芸術などが日本人の思いもよらないような切り口で評価され、日本のものづくりやサービスが活気づき、世界にその存在感を示していくことに貢献したい、鈴木代表は力強く語った。

(事業戦略支援室 松原慎吾)

- (注1) 事業可能性評価事業…  
個人や中小企業の新規事業計画を各分野の専門家が総合的に評価し、評価の高い事業計画は「評価事業」として公社が事業化に向けて3年間継続的に支援する事業。
- (注2) 地域資源活用イノベーション創出助成事業…  
東京の魅力向上や課題解決に向け、中小企業者等が取り組む試作品・新サービス開発・販路開拓・市場化に要する経費の一部を助成。和テンション株式会社は「訪日外国人客の為のARスマホアプリの開発」をテーマとして採択されている。
- (注3) 東京都知的財産総合センター…  
都内中小企業による知的財産の創造・保護・活用の促進を目的に、知財相談や、セミナー・シンポジウムの開催、知財に関する助成事業等を実施している。

企業名：和テンション株式会社  
 代表者：鈴木 康子  
 資本金：950万円 従業員数：11名  
 本社所在地：東京都渋谷区渋谷 2-3-8-401  
 TEL：03-6418-5701 FAX：03-6862-6760  
 URL：http://company.wattention.com/